

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組などについての情報をお届けします。

2：【高校の特色ある取組】

3：【学校紹介スペシャル】

については各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

「見つけよう、自分の目指す学び！」～高校選び支援ためのページ～

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2010tobira/tobira.html>

■ もくじ ■

1：【高校情報の提供について】

- (1) 地区別公立高校合同説明会の開催
- (2) オープンキャンパスの開催

2：【高校の特色ある取組】

- (1) 志津川高等学校 <県内トップクラスの資格取得合格率>
- (2) 石巻北高等学校 <宮城県内で7番目の総合学科が石巻地域に誕生！>
- (3) 村田高等学校 <魅力ある村高で君の進路希望を実現しよう！>
- (4) 古川高等学校 <半世紀を超える伝統 第51回紫臈（しえん）定期戦>
- (5) 中新田高等学校 <勉学と行事・部活動で高校生活を思いっきり充実させよう！>
- (6) 仙台東高等学校 <国際交流活動の推進>

3：【学校紹介スペシャル】

- (1) 佐沼高等学校 <貫け、文武両道。夢実現は佐高から！>
- (2) 多賀城高等学校 <「文武両立」の取り組み>
- (3) 石巻工業高等学校 <国際基準の総合技術者の育成>

4：【編集後記】

■ 1 全県一学区にともなう高校情報の提供について ■

□ 地区別合同説明会の開催

各地区内のすべての公立高校が参加して、地区別合同説明会が開催されます。説明会では、参加校が学校の教育内容や特色ある取組について15分程度説明し、その後5分程度の質疑の時間が設けられます。会場によっては、学校ごとの個別質問コーナーも設置されます。

また、平成25年春の公立高校入試から始まる新しい入試制度についての説明や質問コーナーもあります。

事前の申込は必要ありませんので、中学生の皆さん、保護者の皆様の多くのご来場をお待ちしております！

各会場の日時と開催会場は次のとおりです。

◇仙南会場	7月11日(日)	10:00~16:00	岩沼市民会館
◇仙台会場	7月4日(日)	10:00~15:30	県庁
◇大崎会場	7月10日(土)	10:00~15:00	大崎合同庁舎
◇登米会場	7月3日(土)	10:00~16:00	佐沼高等学校
◇栗原会場	7月11日(日)	10:00~13:00	築館高等学校
◇石巻会場	6月26日(土)	9:30~13:30	石巻工業高等学校
◇本吉会場	7月17日(土)	10:00~15:00	気仙沼高等学校

なお、各会場とも駐車場には限りがありますので、乗り合わせや一般交通機関の利用に御協力願います。

<くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2010soudan/soudan001.html>

□ オープンキャンパス（学校説明会）の開催

今年度も夏休みを中心に、各高校においてオープンキャンパス（学校説明会・一日体験入学）が開催されます。教育内容の詳しい説明や施設見学、さらには模擬授業や部活動体験など、各学校が工夫を凝らしたプログラムを準備しています。

一つの学校に限らず、多くの学校のオープンキャンパスに、ぜひご参加ください。

ほとんどの学校で事前の申込が必要です。

ハガキ、FAX、メールなどで各高校が設定した申込方法にしたがって申し込んでください。高校教育課のホームページから、パソコンに入力して申し込むこともできます。

<くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2010opc/opc001.html>

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高등학교の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 志津川高等学校

| < 県内トップクラスの合格率 >

志津川高校は、各学年「情報ビジネス科」1クラス、「普通科」3クラスからなります。生徒一人ひとりが自分の進路実現に向け、普段の授業、部活動、検定の取得に日々励んでいます。今回はその中でも、「県内トップクラスの合格率」を誇る情報ビジネス科について紹介します。

情報ビジネス科の特徴はたとえば、次のようなものです。

①各種検定合格者数が県内トップクラス

平成21年度に取得した資格のうち、「全商ワープロ検定1級」は10名、「全商簿記検定1級」は10名、「全商珠算電卓検定（電卓）1級」は6名が取得しました。検定の取得に向け、志津川高校の「ワープロ室」や「コンピュータ室」で放課後遅くまで練習に励む姿や、先生方に熱心に質問する姿が見られます。

②即戦力の養成

情報社会が叫ばれるなか、社会に出てすぐに役立つ知識と技能を「総合実践」や「課題研究」といった志津川高校の学校設定科目で習得できます。さらに、2・3年生では「情報システム類」と「ビジネス会計類」の二つのコースに分かれます。「情報システム類」ではコンピュータに関する幅広い知識を学び、営業・経理・事務など一般企業への就職を目指し、「ビジネス会計類」では簿記の上級資格取得により税理士等、会計のプロとしての基礎を勉強し、経済学部系の大学への進学も目指します。

世界的な不況が毎日のニュースで報じられていますが、志津川高校は就職希望達成率7年連続100パーセントを達成しています。その実績を中心となって築き上げてきた「情報ビジネス科」で、みなさんも先生方や友達と一緒に学んでみませんか。

志津川高校の一日体験入学は7月30日（金）に行われます。また、ホームページもぜひご覧ください。

<くわしくはこちら> <http://www.sizugawa-hs.myswan.ne.jp/>

□ 石巻北高等学校

| < 宮城県内で7番目の総合学科が石巻地域に誕生！ >

①【学科改編】平成22年4月総合学科を開設しました。

②【1期生】平成22年度は240名が入学しました。1年次生（1学年とは言わない）は、毎日おちついて学習・部活動に取り組んでいます。

③【総合学科は単位制】学年を年次と呼びます。原則、全員3年次まで進んで、3年次で卒業する人、卒業に必要な単位数に達していない人は4年次に在籍して学習します。

④【原則履修科目】「産業社会と人間」は、総合学科高校では必ず勉強しなければならない科目です

⑤【「産業社会と人間」の内容】自分が今生きている社会のことを考える／社会人として、自分ができること・やりたいことを考える／どんな進路に進み、どんな仕事がかしたいか考える／学習する内容を自分で決める（系列の選択）／目標達成に向けて勉強する（これらの学習に1年次で70時間かけます。毎回“産社レポート”提出）

⑥【大学・専門学校・企業見学】進路選択に対する意識を高めるために、全員いずれかを訪問して自分の進路について考えます（7月1日実施予定）

⑦【高校教育改革により設置された高校数】総合学科校数344校，中高一貫教育設置校数370校，単位制高校数900校

<くわしくはこちら> <http://ishikita.myswan.ne.jp/>

□ 村田高等学校

| < 魅力ある村高で君の進路希望を実現しよう！ >

本校は，四季折々の自然環境に恵まれた地にあります。特に校舎やグラウンドを取り囲むように咲き誇る桜は，生徒はもちろん，訪れる人々を堪能させてくれます。平成7年度に宮城県で初めて総合学科を設置した本校は，今年度で16年目を迎えました。総合学科では，生徒が国語・数学・英語などの普通教科と福祉・商業・工業などの専門教科両方を自分の進路希望や興味・関心に基づき組み合わせながら学べる点に大きな特徴があります。本校ではスポーツや芸術なども含めた多様な選択科目を用意しています。

そして，生徒一人ひとりが将来の進路希望を描き，その実現に向けて学習ができるよう，学校一丸となって指導しています。平成22年度は宮城県教育委員会から「魅力ある県立高校づくり支援事業」の指定を受けました。この事業では基礎学力の向上，人間としての在り方生き方や職業人・社会人としての基本的能力の形成などを学ぶキャリア教育の充実に一層力を入れます。このほか，第一線で活躍している職業人や大学教員・研究者等と呼んでの講話や実技，資格取得のための講座，ボランティア活動等，校外から講師を招いた各種講座を実施します。これらをとおして生徒の皆さんは，生き生きと充実した高校生活を送ることができます。そして将来の進路希望も達成することができるでしょう。

今，村田高生は『生活に活気』『学習に意欲』『行動に責任』を合言葉に，学習に，部活動に，行事などに明るく爽やかに意欲的に取り組んでいます。

<くわしくはこちら> <http://murata-h.myswan.ne.jp/>

□ 古川高等学校

| < 半世紀を超える伝統 第51回紫籐（しえん）定期戦 >

昭和34年にスタートした対築館高校との定期戦も今年で51回目を数えます。県高校総体に向けた技術力の向上と両校の友情を深めることを目的とした行事で，全校生徒による応援となるため非常に盛り上がります。開会式では生徒会長が，前年度の生徒会長から託された思いなど戦いに挑む思いを，また閉会式後には1，2年生に来年度に託す思いなどを語り，伝統を引き継ぐと同時に全校生徒が一つになる大事な機会となります。今年も連休前の4月28日（水）に行われました。昨年アウェイで雪辱をはたし，今年6勝5敗の辛勝ながら，ホームでの勝利に凱歌が一段と高らかに響き渡りました（通算34勝14敗3分）。

入学生は4月から応援練習をして定期戦に臨みますが，この行事を経て古高生になります。家庭でも子供と父で定期戦が話題となります。半世紀を超える今，子どもと父と祖父が定期戦を語る時も近いと期待されます。

紫籐定期戦の歴史や戦績などについて本校のホームページで紹介しています。一部動画でもお伝えしていますので，ご覧ください。

<くわしくはこちら> <http://furuko.sakura.ne.jp>

□ 中新田高等学校

| < 勉学と行事・部活動で高校生活を思いっきり充実させよう! >

中新田高校は、周囲を豊かな自然環境に恵まれ、かつ国内有数の音楽ホールであるバッハホールを持った加美町に位置し、そうした環境・風土のもと、学習に、行事に、部活動にとバランスのとれた教育活動を展開しています。これまでに6000名以上の卒業生を送り出し、地元のみならず県内外の幅広い分野で活躍し、厚い信頼と高い評価を得ています。平成21年度より普通科3学級（2コース制）に改編し、これまで以上に進学や就職指導を充実させ、地域に根ざした高校として充実した教育を実践しています。

本校は平成19・20年度に「個性かがやく高校づくり」、21年度に「大学の教育力を活用した教員研修の実践的調査研究」という県の事業の指定を受け、宮城教育大学と連携しながら、教員の授業力向上を目指した研究実践や、生徒の進路意識の高揚を図る取り組みを行ってきました。こうした校内研究の蓄積を基盤として、今年度は以下のような新たな研究実践に取り組んでいます。

① 校内研究テーマ「進路実現をめざして努力する生徒の育成

～『自己表現する力』（書く力・話す力）の養成を中心に～

上記テーマを掲げ、全教員が一致して、授業の様々な場面において、さらには特に総合的な学習の時間等において、生徒の自己表現力の養成に努め、一人ひとりの進路実現へとつなげていきます。

② 高校の学習へのスムーズな移行を図るための様々な取り組み

本校では、ここ数年、近隣中学校への授業見学を実施し、中学校の学習（指導）の実態把握に努め、新入生が高校の授業にスムーズに入っていけるように授業の内容や進度に改善を加えています。また英数における習熟度別授業を実施し、さらには学習オリエンテーションやHR合宿等を通してきめ細やかな学習指導を行っています。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

<くわしくはこちら> <http://www.nakani-h.myswan.ne.jp/>

□ 仙台東高等学校

| < 国際交流活動の推進 >

仙台東高校において創立以来熱心に取り組んできたのは「国際交流活動」です。本年5月28日、その活動の一環としてASEAN10カ国（ブルネイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、東ティモール）から代表の高校生22名を迎え、全校生徒との交流のひとときを持ちました。歓迎会の様子はその日の夕方のニュース（TBC・東日本放送）で紹介されたので、ご覧になった方もいるかと思えます。

本校有志生徒によるソーラン節の紹介。返礼で行ったASEAN代表生徒による日本語でのふるさとの合唱など、最後にはすっかり打ち解けた雰囲気ですべてを終えることができました。

全体会終了後は調理室において、地元みやぎの料理である「おくずかけ」と「ずんだ餅」をホストファミリーと一緒に料理したり、茶道の体験をしたりと、たった1日ではありますが東高校ならではの国際交流が行われました。

<くわしくはこちら> <http://higasi-h.myswan.ne.jp/>

□ 石巻工業高等学校

| < 国際基準の総合技術者の育成 >

本校では、工業の専門技術・知識の習得に加え、広く社会に貢献できる「国際基準の総合技術者」の育成を教育目標に掲げています。目標達成に向け、次の3点を重点目標としています。

- ①基礎・基本の学力の習得…分かる授業・達成感のある授業を目指し、宮城教育大学と連携した「授業力向上事業」などを行っています。
- ②社会生活力・適応力の習得…時間厳守・さわやかな挨拶など、3年間で培われる社会性は、地域の信頼と企業からの期待が大きく寄せられています。
- ③技術・知識の専門性の進化…充実した施設・設備のもと、県内トップクラスの資格取得数を維持し、ものづくりコンテスト等に上位入賞を果たしています。

また、特色ある取り組みとして、保育所の設計（建築科）、カキボールによる水質浄化（天文物理部）などがあり、「富県みやぎグランプリ特別賞」等を受賞しました。今年度は石巻市役所の依頼で「光触媒による水浄化」に取り組みます。生徒の学校生活に対するモチベーションも高く、ほぼ100%の就職率と国立大学を含めた高い進学決定率を維持し、部活動では数多くの東北大会や全国大会出場を果たしています。

今後も、専門教育を通して魅力ある高校づくりを目指します。

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 佐沼高等学校

| < 貫け、文武両道。夢実現は佐高から！ >

佐沼高校は、「文武両道」の校是のもと、一人ひとりの生徒がそれぞれの目標に向かってひたむきに学習や部活動等に励んでいます。昨年度の国公立大学合格者は46名。インターハイや全国総合文化祭に数多くの生徒が出場しました。

◆文武両道の取り組み① 学習面

佐沼高校では、20年度から、毎日45分×7時間の授業を行っています。どんな進路を希望するとしても重要になる英語・数学・国語の各教科には特に力を入れています。この3教科では、授業時間数を通常より増やしているだけでなく、少人数や習熟度別編成による授業も行っており、密度の濃い学習ができます。

また、授業に加えて、学習を深めていくための課外講習などもあります。全学年対象で、年間を通じて月に2回程度行われている「土曜課外」。夏、冬の長期休業中の課外、3年生の県総体終了後から行われる毎日2コマの「放課後課外」。その他にも、仙台や東京から予備校の講師を佐沼高校に招いて行われる「予備校連携課外」や、2学年を中心にした「学習合宿」など、学ぶ機会はたくさんあります。

◆文武両道の取り組み② 部活動

昨年は陸上競技（棒高跳）及びボート競技（女子舵手付クオドルプル）でインターハイへ出場しました。また、新人戦や選手権大会でも剣道部男子が優勝し、今年度もきっとすばらしい成績を残してくれることだろうと思います。文化部でも箏曲部が全国総合文化祭へ出場します。この他、どの部も県総体や各種大会・発表会等

に向けて熱心に活動しています。また、部活動を通して「チームワーク」や「自分たちでよりよい練習計画を立てること」など、成績や結果だけでなく多くのものを手に入れることができるはずです。

◆文武両道の取り組み③ 学校行事

佐沼高校は、学校行事の盛んな学校です。「球技大会」「陸上大会」「佐高祭（文化祭）」は「三大大行事」と呼ばれ、大きな盛り上がりを見せます。行事では、あたえられたものを受け身に楽しむだけでは、本当に楽しむことはできません。佐沼高校では、生徒会役員や実行委員の生徒を中心に、毎年「去年以上に盛り上がる、よい行事にしよう」と自分たちで考え、行動しています。そして、みんなが参加することでより「楽しめる、盛り上がる」行事になっているのです。今年度は、4月29日に雨の中「陸上大会」が実施され、佐高魂をみせつけ、大きな怪我もなく大変盛り上がりました。また、保護者にも案内をしているため、沢山の方が雨の中応援にきていただきました。球技大会は6月30日・7月1日です。佐高祭は8月29日（日）が一般公開となっています。多くの方の来校をお待ちしています。

◆文武両道の取り組み④ 生徒のがんばりを支える環境

放課後の職員室前。廊下には机が並び、手元を明るくする照明もあります。多くの生徒が遅くまで自習しています。わからないところは、積極的に先生方に質問する姿も見られます。この、放課後の学習は佐沼高校の伝統ともいえるものです。先輩方の姿が後輩たちに引き継がれていきます。

佐沼高校には、登米市内を中心に、広範囲から生徒が通学しています。通学手段として大きな役割を果たしているものに市民バス（100円バス）があります。朝の通学時はもちろんのこと、部活動後の下校時（19時台）にも運行され、多くの生徒が利用しています。

<<わしくはこちら>> <http://sanuma.myswan.ne.jp/>

□ 多賀城高等学校

| < 「文武両立」の取り組み >

新年度が始まって早2ヶ月たちました。真新しい制服で入学してきた1年生も県総合体育大会に向けて頑張っている先輩の雰囲気にはすっかりなじんでいます。さて、平成22年度の多賀城高校を「文武両立」という視点から紹介します。

①学習面

多賀城高校では、平日は50分×6時間授業を実施しています。ただし、火曜日と木曜日は「総合的な学習の時間」、「LHR」を設定しているので7時間です。学習から部活動への切り替えを促そうと6時間の場合は午後3時40分にチャイムを鳴らしています。6月現在は県総体へ全力で取り組めるよう課外講習は実施していませんが、県総体が終了してから3学年では開始する予定にしています。朝学習は2学年で実施しています。

県総体終了から9日後で第1回定期考査が始まります。部活動停止期間となって教室や自習室（学び処）、図書室、職員室前の質問コーナーを利用して学習する生徒がたくさん見られるそんな時期が迫っています。

②部活動面

多賀城高校は、仙台塩釜地区に属しているため県総体に出場するために地区予選を勝ち抜かなければならない競技は大変です。今年度はそんな激戦を勝ち抜いて県大会に駒を進めた団体競技は、ソフトボール、サッカー、男子バスケットボール、

男子及び女子卓球です。個人競技としては陸上競技他多数の運動部で出場を勝ち取っています。6月5日からの3日間で実力を100%発揮してくれると信じています。

また、運動部以外の生徒は1日目は仲間の応援に回ります。声援を背に頑張ってもらいたいと思います。

また、文化部の活動としては、吹奏楽部の定期演奏会が5月29日に実施されました。1,200人収容の会場が満席で日頃の練習の成果を十分に発揮していました。

③学校行事面

4月の入学式以降続いていた学校行事も5月の連休を終えたあたりで一段落して部活動に向かっているところです。ただし、定期考査が終わると夏休み前7月15日及び16日の「球技大会」が間近となるので現在も準備を進めているところです。教室をのぞくとクラスTシャツの図案を考えている様子がうかがえます。また、夏休みが終わって1週間後の8月28日には「多高祭(文化祭)」の一般公開が控えています。その準備もテーマを話し合うなど進めているところです。

その他には7月10日に予定しているオープンスクールに向けて定期考査以降に準備を始めます。多くの方の来校をお待ちしています。

■ 4 編集後記 ■

今年度初めての「高校教育課 情報メール」第16号をお届けします。今回は、夏休み前後に実施予定の公立高校合同説明会やオープンキャンパス(学校説明会)の案内とあわせて、県内の高等学校の特色ある取組もを紹介しています。皆さんの参考になれば幸いです。

今年も県立高校に関するさまざまな情報をお知らせしていますので、「高校教育課情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール(メールマガジン)

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1
TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
